



主催：一般社団法人 関西建築構造設計事務所協会

第70回 技術交流会報告書

会 長 正木 忠
技術委員会委員長 野村 毅

第70回 KSE 技術交流会が、2025年2月18日に大阪府建築健保会館5階会議室にて開催されました。今回は「工法・製品の紹介」を主題として、KSE 賛助会員の3社から施工事例と製品・工法について紹介して頂きました。

まず始めに、オリエンタル白石株式会社の小見様から「プレストレストコンクリート技術が使用された建物の施工実績紹介」と題して、プレストレストコンクリートとプレキャストコンクリートの基本的な特徴と施工方法・手順について、現場の写真をもとに説明していただきました。また、PC部材を設計する際の手順についても解説いただきました。



次に、センクシア株式会社の高橋様から既存鉄骨建物の方杖補強における柱梁にボルト接合する工法として「スマートアタッチ工法」と「スマートウィクシス工法」をメインに紹介して頂きました。フランジへの孔開けが不要で完全無溶接化が実現できるため、トータルコストが抑えられ、JR東日本では、標準工法として採用されているとのこと。

最後に、高島株式会社の岡元様からエルマッドS工法（株式会社エルフ）を紹介して頂きました。スラリー系のブロック状地盤改良で支持地盤まで掘削・排土することで、支持地盤の状況が目視確認でき、確実に支持層に定着できるほか地中障害物や改良対象土として不適当な土の撤去が可能な工法とのこと。



対象者：関西建築構造設計事務所協会 会員
参加費：無料
参加者：44名